



Séminaire sur la Sûreté Alimentaire
Tokyo, 21 Juin 2010

Daniel GALLOU

ダニエル・ガル氏

Président de CITE MARINE

CITE MARINE社社長



ブルターニュ



日本



共通の要求

- 価値
- パフォーマンス
- 専門性

会社概要

- 1990 : ダニエル・ガルとミッシェル・ガルにより創設
- 1996 : 第一工場の設立
- 1998 : Lioget社を買収
- 1999: 野菜市場の多様化
- 2005 : Cite Marine学校を創設(3年間の課程)
- 2007 : 漁業と水産養殖業の世界的リーダーであるNISSUI(ニッスイ)グループの一員となる。
- 2007年より2つの生産地にて、IFSの称号を与えられる。

合併の理由

欧州市場への入り口



漁獲量の拡大
原料の完全なトレーサビリティ
新市場の獲得

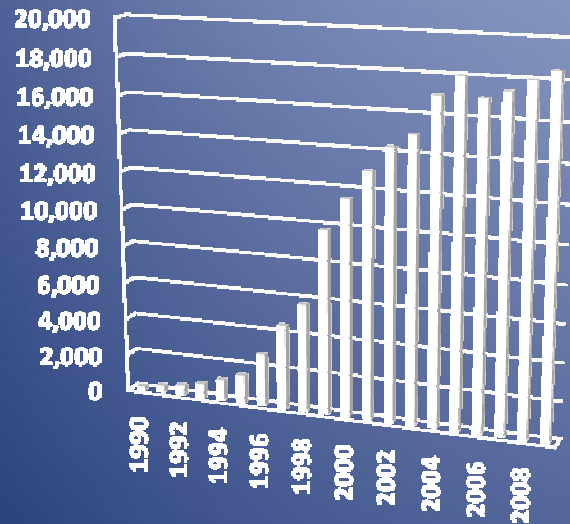
True Global Links



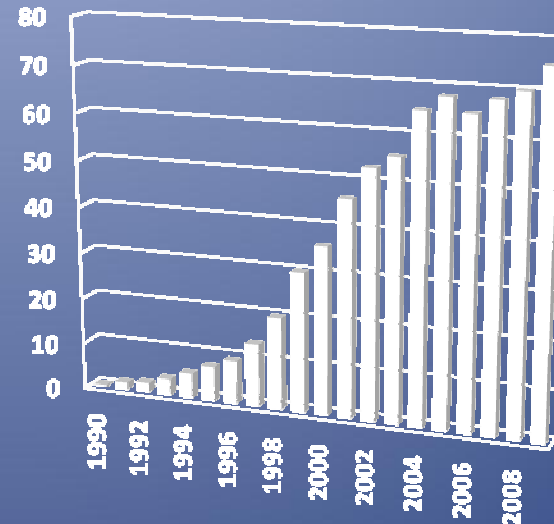
CITE MARINE 2010

《シテ・マリン社は、20年間で、加工魚介製品の分野でフランス第一位の地位を確立》

Evolution CITE MARINE
トン数



Evolution CITE MARINE
売上高 M€



450 社員

売上高 : 80 M€

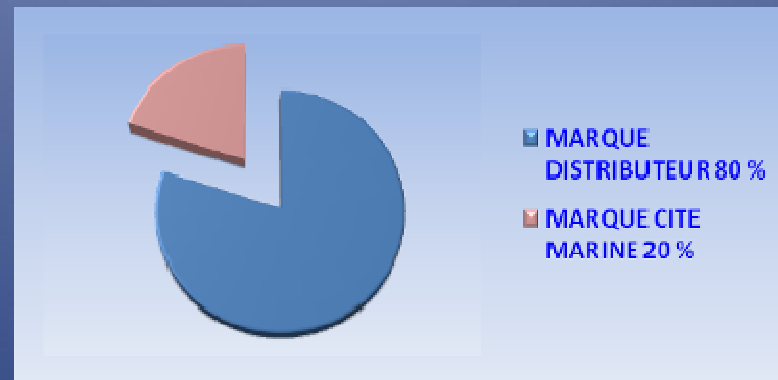
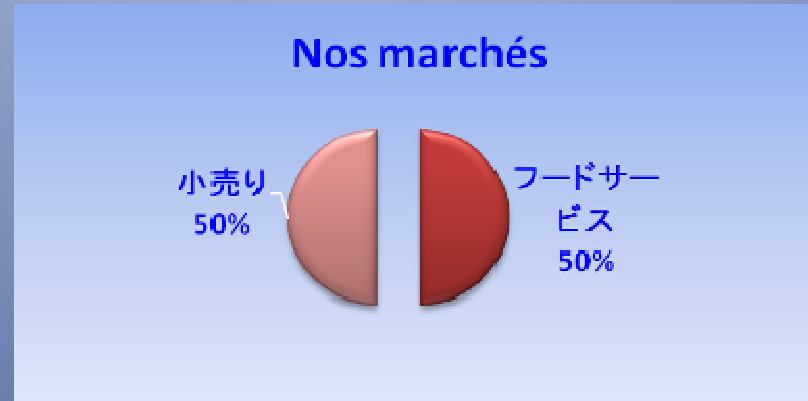
➔ 加工魚介製品分野でフランス国内第一位

原則と価値

1. 製品: 味, 安全と栄養
2. 顧客満足: “毎日ひとつの質の高いオーダー製品を提供する”
3. 有益性 即時と長期に渡って
4. 雇用の持続性と 研修(社内学校)
5. 持続可能な開発



シテ・マリン社の活動領域



プライベート ブランド

指標：生産量対価格の割合

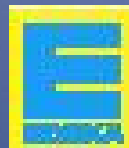
中小企業：MDDの製品のうち80%が中小企業によって生産されている。
1年につき12,000の新商品が生産されている。(au niveau international)

	2000	2005	2008	利用推移
スイス	—	49 %	54 %	↑
ブルターニュ	42 %	42 %	48 %	↑
ドイツ	29%	41 %	41 %	↑
ベルギー	36 %	43 %	40 %	↑
スペイン	22 %	33 %	39 %	↑
フランス	24 %	32 %	34 %	↑
オランダ	21 %	24 %	23 %	↑
アメリカ合衆国	20 %	—	18 %	↑
日本	16 %	16 %	18 %	↑

国により差異がある。



欧州の流通業者は、業者にIFSであることを求めることが多い。



IFS は 品質とお客様の信用を保証

-食品中に含まれる物質の安全性に対する要求(HACCP, CODEX)

及び

品質における要求(小売店プライベートブランドに対する生産者責任)

収益につながるための保証方法



社内

社外

まとめ